

報告

ベトナムベンチエ省における口唇口蓋裂患者への医療援助活動報告

江尻晴美¹、馬場礼三²

¹ 中部大学生命健康科学部保健看護学科 ² 中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科

1. はじめに

特定非営利活動法人日本口唇口蓋裂協会(JCPF)は、中部電力(株)、トヨタ自動車(株)、(株)三菱UFJ銀行、(株)大丸松坂屋、日本ガイシ(株)、名古屋鉄道(株)、東邦ガス(株)が法人会員として理事を派遣している我が国最大の口唇口蓋裂についての非営利のボランティア協会である(日本口唇口蓋裂協会: 理事長 川口文夫中部経済連合会 名誉会長)¹⁾。

JCPFの活動の一つである海外医療援助は、海外の口唇口蓋裂の患者に対して無料手術を行うとともに、現地口腔外科医師への技術指導を行っている。2018年12月に、保健看護学科の江尻が看護師として、スポーツ保健医療学科の馬場が小児科医師としてJCPFのベトナムにおける海外医療援助に参加した。JCPFのベトナムでの海外医療援助は、ベンチエ省 Nguyen Dinh Chieu General Hospital で26年間にわたり行われている。本稿では、我々の参加した2018年の活動について報告する。

2. JCPFの活動

口腔外科医師、麻酔科医師に加えて、小児科医師1名と日本各地の病院から7名の看護師が参加した。JCPFが使用している手術室は、日本の援助で建築されたもので、現在は救急処置室として使用されている(図1)。2018年は、46名の患者に対して手術が行われた。

口腔外科医師の主な役割は、口唇口蓋裂の患者の術前・術後の診察と手術である。



図1. Nguyen Dinh Chieu General Hospitalの一角で活動が行われた。

小児科医師の主な役割は、術前の患者の全身状態チェックと準備、術後患者の管理、回復室の現地看護師への指示、若手医師の指導であった(図2)。ベトナムは、国民皆保険を目指しているが、特に農民や自営業者などの任意保険の加入率は低い²⁾。中でもJCPFが活動を行っている地方農村部では、経済的な理由から任意保険の加入ができずに成人期まで口唇口蓋裂の手術を受けることができない人々が少なくない。そのためにベンチエ省におけるJCPFの活動では、小児に対する手術のみならず成人患者への手術を行っており、小児科医師は成人患者の全身状態の管理も行う必要がある。また、特に小児では口唇裂・口蓋裂によりうまく経口摂取できずに栄養状態が不良である患者も多く、輸液ルートの確保など、困難を要するケースが多かった。また、1日に約12件の手術が行われるため、手術患者の管理と観察に多忙を極めた。



図2. 回復室での夜の回診。ベッドサイドにて、現地看護師に夜間の指示を行う馬場医師

看護師は、主に手術室での活動と回復室で活動した。看護師のうち、1名は手術室認定看護師であった。5名は現在手術室で勤務しており、2名は手術室での勤務経験があった。3名は複数回 JCPF のミッションに参加していた。手術室における看護師の役割は、1)麻酔の介助、2)手術の直接介助、3)手術の間接介助、4)手術器材の準備と消毒であった。回復室における看護師の役割は、1)患者の手術の準備、2)術後患者の観察、3)回復室の医師の介助を行った。手術室と回復室での看護の実施にあたっては、現地の看護師も共同で行った。しかしながら、通訳が必要であり、特に緊急時にはコミュニケーションの困難があった。

2018年の活動では、手術中から手術後に患者に関するトラブルはなく終了することができたが、術中の医療者への血液暴露が1件あり、規定に基づき対処が行われた。

このプロジェクトには全国から医学部、歯学部学生のみならず、看護学部の学生も参加しており、人道援助を学ぶ機会も提供している。

3. 今後の課題

2018年のベトナムベンチェ省におけるJCPFの活動は、患者にトラブルなく終了することができた。今後、この活動をより円滑にするために以下の課題が考えられた。

- ①術中の血液暴露に関しては、手術用ゴーグルの着用を義務付けるなど物品準備と参加者の意識向上。
- ②医療援助におけるインシデント事例の蓄積と参加者の

共有。

- ③両国のスタッフ間でコミュニケーションをうまく取ることができるよう、毎日の担当者紹介の時間を設ける。
- ④初めて参加する日本人看護師や看護学生のために、事前のオリエンテーションや写真も使用したマニュアルの充実。

引用文献

- 1) 日本口唇口蓋裂協会ホームページ[インターネット]
<http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~jcpf/> [検索日:2019年1月22日]
- 2) 村上仁:日本とベトナム・ラオスの医療保険:制度比較から見る協力可能性. 平成26年度国際医療研究開発費研究報告シンポジウム「医療保険制度—日本の経験を途上国のUHC支援に生かすには. 報告書, 2015.

Title: The Reports of Medical Supports Cooperation for Patients Cleft Lip and Cleft Palate in Ben Tre Province, Vietnam

Authors: Harumi Ejiri, Reizo Baba

Address: College of Life and Health Sciences, Chubu University, 1200 Matsumoto-cho, Kasugai, Aichi 487-8501, Japan

Keywords: Vietnam, Medical Supports